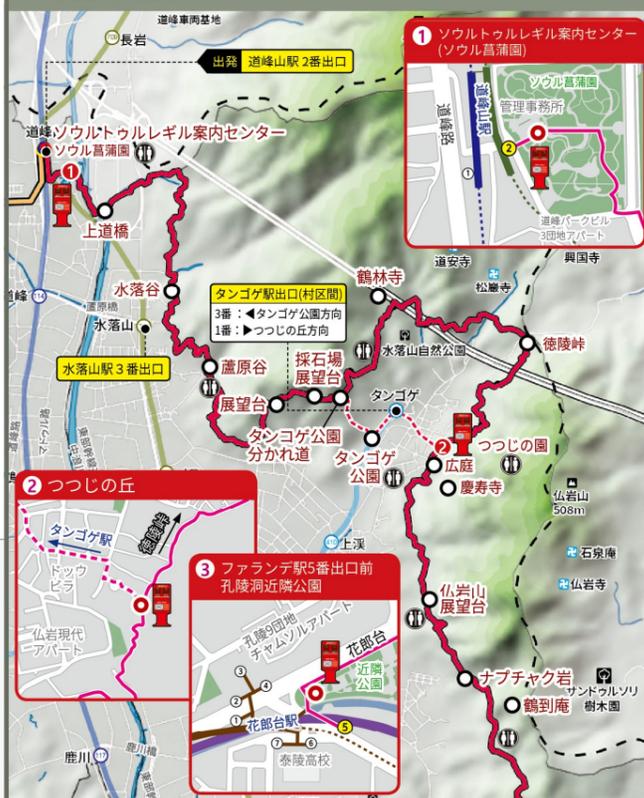


# 1 水落・仏岩山コース

距離: 18.6km | 時間: 8時間 10分 | 難易度: 上

水落山と仏岩山を繋ぐコースとして山林浴を楽しめるとともに、採石場の敷地の展望台から眺める景色がとても素晴らしいです。仏岩山地区は仏岩山ソウルレギルと並行する区間であるため、ご利用の際にご参考下さい。



**水落山 638m** 水落山という名前は、巨大な花崗岩の崖壁から水が転がり落ちる姿から付けられたと言われています。崖壁は多いですが、山勢はそれほど険しくありません。北漢山、道峰山、冠岳山と共にソウル近郊の4大名山として呼ばれています。

**仏岩山 508m** 山頂部にある大岩がまるで仏様に似ていることから、佛岩山と呼ばれるようになりました。

**ソウル葛菴園** 総面積52,417㎡に花菴園をはじめとするハナヤマをテーマにしたソウル市の生態公園として、12個のテーマで造成され、市民に生態教育及びレジャーと休憩空間を提供しています。

**鶴林寺** 大韓仏教曹渓宗南岳教団の本寺である曹溪寺の末寺です。671年(新羅文武王11年)元曉大師が創建しました。高麗恭愍王(在位1351~1374)の時、僧徒和尓助がこの寺で修造したという話が伝わっています。現在は、羅漢像を中心信仰する道場として有名です。

**鶴到庵** 朝鮮仁祖2年(1624)に無空和尚が仏岩山にあった旧寺をこの場所に移転創建しました。大法堂、三聖閣などの殿舎があり、大雄殿の後ろにある崖壁には、明成皇后の願によって1872年に造成された高さ22.7m、幅7mの巨大な「羅漢像首像摩崖(ソウル市有形文化財第124号)」がありますが、朝鮮後期の羅漢像としては大作として評価されています。

# 2 龍馬・峨嵋山コース

距離: 12.3km | 時間: 5時間 10分 | 難易度: 中

墨洞川、忘憂山、龍馬山、峨嵋山を繋ぐコースです。山の尾根に沿って散歩するコースとして、ソウルソウルレギルの中で最も展望が素晴らしいコースです。愛国志士が眠っている忘憂墓地公園、峨嵋山堡壘など、歴史と文化資源が豊富です。



**龍馬山 348m** 峨嵋山で最も高い峰であり、峨嵋山と共に白頭大幹の支脈である光州山脈の末端を築きます。以前には峨嵋山を含めて南行山とも呼ばれました。

**峨嵋山 295.7m** 以前は南側に向かって突き出た山だということで南行山とも言われ、村の人々はアキ・エクス・エキサンなどと呼んでいました。

**中浪キャンプの森** 学生や家族単位のピクニックをテーマにした体験型公園、人為的施設の最小化、健康な林をテーマにした生態学習公園、小規模の野外台設置など、青少年中心の文化センターとして造成されました。

**忘憂墓地公園** 忘憂山一帯に造成された墓地公園です。ハン・ゴンウン、パン・ジョンアム、イ・ジョンソプなど17人の著名人が眠っており、散歩やジョギングを楽しめる休憩スペースとして活用されており、5.2kmの散歩道の所々に15人の年譜碑が設置されています。

**峨嵋山堡壘** 峨嵋山一帯の堡壘群は出土遺物や築城方法などから見て、三国時代の遺跡として評価され、分佈地域から見ても、高句麗が5世紀後半から6世紀半ばまで漢江流域をめぐる三国情勢を糾する重要な遺跡として評価されています。特に高句麗遺跡である建物跡、石積墓、オンドル、土器、鉄器などが出土されました。

# ソウルソウルレギル & 漢陽都城道



自然と人が共に歩く  
**ソウルソウルレギル**  
+ 漢陽都城道

ソウルソウルレギルは、8つのコースでソウルの歴史、文化、自然生態などをストーリーと組み合わせ、国内外の訪問客が感じ、学び、体験することができるように造成された徒歩道です。

ソウルソウルレギルは、「森の道」、「河の道」、「村の道」で構成されています。

ソウルソウルレギルには、休憩施設とピクニック、休憩スペースを設け、自然に憩いながら歩けるようにして、伝統深い寺院と遊歩道を連携し、ソウルの歴史と文化、自然生態をいたるところで体験できるように造成しました。

公共交通機関でもアクセスしやすく、主に舗装も緩やかで公道になっているため、誰でも安全に利用することができます。

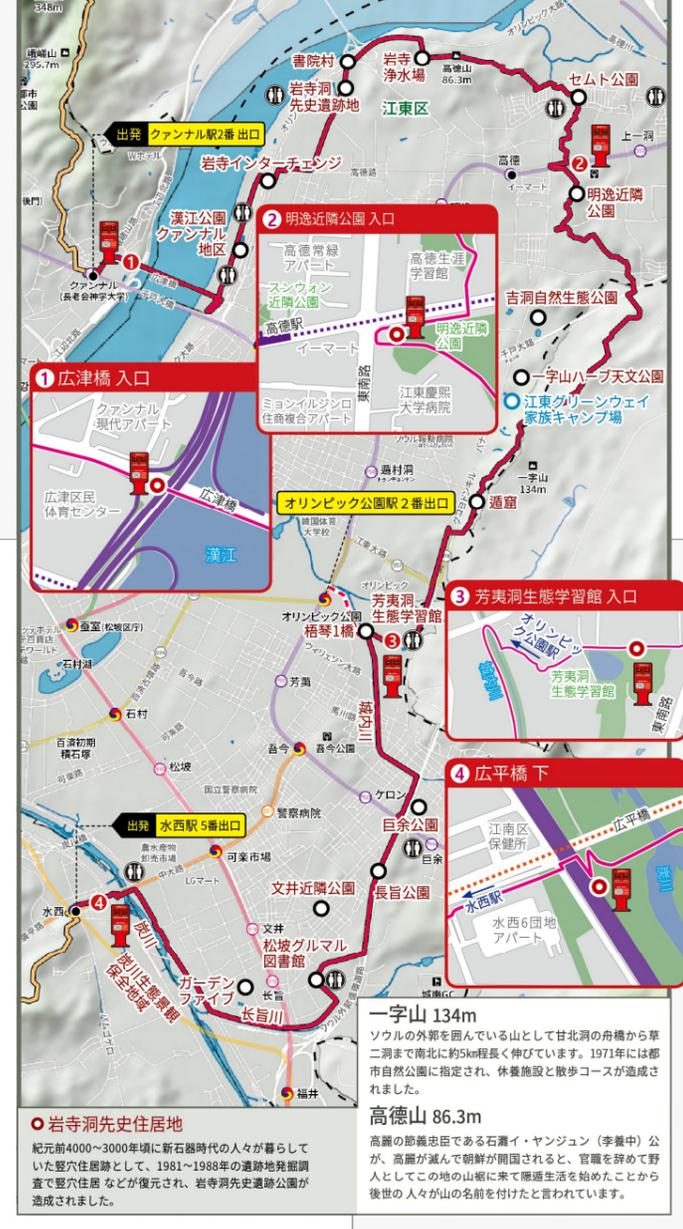
漢陽都城道は、ソウル城郭の歴史と文化を楽しく学ぶことができる歴史探訪コースで、計6つの区間で分けられています。

ソウルの中の南山、仁王山、北岳山、鷲山に囲まれたソウル城郭に沿って先祖たちの魂を思い出し、その時代の歴史と文化を感じることができます。

# 3 高德・一字山コース

距離: 25.6km | 時間: 8時間 50分 | 難易度: 下

漢江、高德山、一字山、城内川、炭川を經由するコースです。河道と林道が調和しているコースで、ソウルの様々な姿を見ることが出来るコースです。



## 登山時に必ずお守りください

- 一人よりも二人以上が安全です。
- 定められた登山路のみご利用ください。
- 危険な場所へは行かないでください。
- 暗くなる前に下山するようにしましょう。
- 安全のため登山装備を用意しましょう。
- 豪雨、台風、大雪の際は登山を中止してください。
- 登山中の飲酒と禁煙は禁止されています。
- 自分の体力と健康に合った登山をしましょう。
- 登山の際は自然を保護して周囲の人に配慮しましょう。



**大母山 293m** ソウル江南区瑞草洞と逸院洞の南側に位置する山で、大母山という名称は、山の姿が年老いたお婆さんに似ていることから婆山と呼ばれていたが、朝鮮時代、太宗イ・ワンゴン(李芳遠)と彼の妃の遺棄王后廃后の墓である龍潭が、大母山の南側に造成されてから王命により、大母山と呼ばれるようになったと伝わっています。

**九龍山 306m** 九龍という名前は、遠い昔にある龍が四匹の龍が昇天するのを見て驚いて叫んだため1匹が転んで死んでしまった九匹だけ空に上ったとして付けられた。シガル木(モンゴリナ)とヒヨクササメと日本から来たリギダ松などが散在している。珍しいバクダ木(漆折柳)も育っている。

**牛眠山 293m** 牛が眠る姿の山ということから牛眠山と呼ばれています。その他にも牛眠山を呼ぶ名前も種々ありますが、大岩が冠をかぶっている姿ということから龍冠山と呼ばれ、弓を引く宮跡と亭子があったことから射山山と呼ばれていました。東側から西側に長く横たわっている形です。

**大聖寺** 大聖寺は384年インドの摩羅耶陀が創建したと言われる古寺である。朝鮮時代の明宗の統治下、普雨大師がそこを止まりながら仏教の興隆を推進させた。近代には白龍城(ペグ・ソングク)、韓龍雲(ハン・ユンウ)僧を含めて天道教の吉善僧(ギル・ソングク)、李聖柱(イ・ビルジュ)等の人々を合わせて民族と宗教を推進させた。

## ソウルソウルレギルコースの細分化

コース名(細部コース)	156.5 (km)	時間	備考
1コース 水落・仏岩山	1-1: 06.3 1-2: 05.4 1-3: 06.9	2:50 2:50 2:30	トボンサン駅〜タンゴゲ公園分かれ道 タンゴゲ公園分かれ道〜つつじの丘 つつじの丘〜ファランデ5番出口
2コース 龍馬・峨嵋山	2-1: 07.7 2-2: 04.6 2-3: 2:10	3:00 3:00 2:10	ファランデ5番出口〜カルタクコゲ(サガジョン駅) カルタクコゲ(サガジョン駅)〜クワンナル駅
3コース 高德・一字山	3-1: 09.3 3-2: 07.7 3-3: 08.6	3:00 3:15 2:35	クワンナル駅〜明逸近隣公園入口(コクドク) 明逸近隣公園入口(コクドク)〜梧琴1橋 梧琴1橋〜オリンピック公園〜ソウル駅
4コース 大母・牛眠山	4-1: 10.7 4-2: 07.6	4:50 3:20	スソ駅〜良才市民の森(ヤンジェシメスブ) 良才市民の森(ヤンジェシメスブ)〜サダン駅分かれ道
5コース 冠岳・虎岩山	5-1: 05.7 5-2: 07.3	2:30 3:30	サダン駅分かれ道〜冠岳山公園入口 冠岳山公園入口〜ソウル駅
6コース 峰山・鷲峰山	6-1: 08.0 6-2: 10.2	2:05 2:25	ソウル駅〜クイル クイル駅〜加蘭大橋南端(ワマン駅)
7コース 峰山・鷲峰山	7-1: 07.7 7-2: 09.1	2:10 4:15	加蘭大橋南端(ワマン駅)〜チュンサン駅分かれ道 チュンサン駅分かれ道〜ババル駅
8コース 北漢・道峰山	8-1: 05.9 8-2: 07.4 8-3: 06.0 8-4: 07.1 8-5: 07.3	2:45 4:00 2:50 3:30 3:25	クバル駅〜北漢山生態公園 北漢山生態公園〜兄弟峰入口 兄弟峰入口〜華漢寺〜柱門 華漢寺〜柱門〜ファンサンワン駅 ファンサンワン駅〜トボンサン駅

ソウルソウルレギルには、徒歩旅行者のための郵便ポスト型のスタンプ掲示台が設けられています。各区分間のスタンプ掲示台を押し、該当地点のスタンプを全部揃えるとソウルソウルレギル完了証明書を発行します。詳細はソウルソウルレギル案内センター(02-779-7902~4)にてご確認ください。

